

ひがしの

平成6年4月15日

No. 41

発行 東野公民館



東野鷺尾神社付近

写真 大井町 土方董介 氏

なつかしい蒸気機関車

今年は、恵那市が誕生して四十周年を迎えました。ちょっと、むかしをふりかえって、蒸気機関車の写真を掲載してみました。

昭和八年に大井く阿木間に明智線が開通し、大井、東野、阿木に駅ができました。それから、四十一年間、四十八年に廃止になるまで、ふるさとの風景や人々のうつり変わりをみながら蒸気機関車は走りつづけました。恵那市は、ちょうどその中頃に誕生したことになります。

年々、技術は進歩し、生活は豊かになりました。社会の変化とともに、くらしの形も変わってきていきます。しかし、ふるさとを愛する心は、いつまでも変わらないでいたいものです。

ふるさとの子供たちへ

〈学校・家庭・地域の和〉

公民館長より、今までの挨拶でなく、東野を語っていただく様をお願いしたいと話があらましましたので、思いのつを書かせていただきました。

教師生活最後の二年間を東野で過ごさせていたで、心から「良かったなあ。」としみじみかみしめています。それは、自分の考えていた「教師が子どものために、誠心誠意つくしている姿、それを受けて一生懸命努力している子どもの姿、それを支える父母、地域の暖かい協力と援助の姿」の三つの姿を見出すことができたからです。私はこの二年間、子どもとお話をする機会や、各学級での子どもの話などを担任から聞くなかで、また授業参観での親子の姿から、私が強く感じたことがありました。

それは、一年間～六年間の学校生活の中で、子どもたちは「私の敬愛する人は、父と母です。」「私の尊敬する人は、祖父と祖母です。」と言った内容が多くあったことです。私はこのことに少し驚きましたが、同時に「よかった。」と心から思いました。なぜなら祖父母や父母は、あまりにも身近にいますので、子どもの為に心配したり、苦勞していることに気づかずにいる場合が多いのが、ごく普通に思えるからです。そんなことに気づいたと言うことは、大変なことであり、すばらしい心の成長であると感心したからです。

古山昭次

こんな子どもの話も聞きました。ある子どもは（前文略）

「私はそのことを今思い出すと、自分が馬鹿みたいに思えてくる。私はお父さんが心の中で半分泣きながら『出ていけ!』と言った気持ちで、今になってわかるような気がする。そして、お母さんやおばあさんにもさがさせたり、心配させたりしたので、今になってみるとなんか悪いことをさせちゃったなあと思った。これからは、少し意見されても、家を出して親や家族に心配させたりすることは、もうしないように心の中で思っている。」と。私は、そ



のことがうれしく、またそう言わしめるお父さんやお母さんも立派であると思いました。

親というのは、誰でもいつの時代でも、自分のこと以上に我が子のことを心配し、我が子には立派になってほしいと願うものだと思います。「親思う心に優る親心、今日の訪れ何とさく

らん。」これは、松下村塾を開いて、幕末の混乱期にあたつてよく日本の将来を考え、人のため世のために尽した人を教育なさった、古田松陰先生の言葉です。この意味は、その子がどんなに親を思い心配したとしても、親が我が子のことを思い心配する気持ちには、遠く及ばないものである。と言うことです。

新聞や雑誌などで、親子の断絶などと言った記事がよく目につきます。家庭とは、家族が食べて寝るだけで、家族の気持ちなどお互いに考えず、勝手気ままにふるまう場所ではないはずですよ。家族とは、みんなで助け合い支えあい、心の通じあう人の集まりでなければならぬのです。

幸い東野の子たちは、両親を敬愛して感謝しています。祖父母を尊敬しています。このやさしい心を気持ちをいつまでも大切にして、責任の持てる行動力のある子に育てて、東野に残って

いる大切な良さを守り通して行くことが、これからの地域を発展させていくことにつながると考えます。

終りになりましたが、東野振興会長さんを始め役員の方々、PTA会員の方々には大変お世話になりました。いたらぬところが多くあったかと存じますが、広い心で接していただきまして、誠に有りがとう御座いました。お陰様で四十年間におよぶ教師生活を、無事終わらせていただきました。心から感謝申し上げましてご挨拶に代えさせていただきます。



ふるさとアンケート

たのしいふるさと、よりよいふるさとをめざして東野の高齢者の方と小学生に、それぞれのお考えを聞かせていただきました。

高齢者（老人クラブ） 59人

小学生（3・4・5年生）57人の方がアンケートにご協力くださいました。

（複数回答、無回答がありましたので、人数と回答数は一致しません）

★ (高 齢 者) ★

(2) 将来（20～30年後）私たちのふるさと東野がどんな所になっていたらよいと思いますか。

互いに助けあい、仲良く暮らせる所、平和に暮らせる所

自然が守られ、緑の豊かな所

環境整備が整った所（道路、下水道など）

高齢者の福祉制度、施設の充実した所

三世代が同居できる様に、近くに働ける場所がある所

人口や家が増え、子どもがたくさんいる所

文化、教育が充実した所

観光施設や団地などができるとよい

何も望まない、先のことはわからない

自然を守りながら都市化を進める

年代などにとらわれず民主的な所

スーパーなど近くに買い物のできる所がある

その他に

自分の故郷が自慢できる所・農作物を主産業とした所

農協など農地を共同で管理できる・現状の農地を維持する

縦のつながりの強い所

などがありました。

(1) 将来を担う子供たちに、どんなことを望みますか。

やさしさ、思いやり

郷土を大切に、住みよい所をつくってほしい

い

素直で心が広い子

身心ともに健康

責任感がある

目的に向かって努力する

家族を大切にする

祖先に感謝し、大切にする

物を大切にする

地域の発展につくせる

国際社会に通用する

あいさつができる

その他に

自信がもてる、自然を愛する、個性がある

などがありました。

る子供になってもらいたい。

品を大切に特に米の尊さを認識する

在があることを認識した子供に育つ

あるのは祖先、親のあるために現

きな人間になって欲しいです。

極的に頑張っている。

の良き友達を作り、明るくて誠実

な人間として地域発展のために積

里になってほしい。

大切に、生活福祉のゆきとどい

息子が家から通勤出来る地域が良

いと思います。

美しい自然と豊かな文化に恵ま

れ、住民が心のふれ合いと連帯を

大切にし、生活福祉のゆきとどい

た安心して信じ合って住める平和な

質問(1)

アンケート一部より

質問(2)

(小 学 生)

(1) みなさんがおとなになったとき、ひがしの
どんなところになっていたらよいですか。

自然がたくさんあるところ
ゴミの少ない所
今のままがよい
店やゲームセンターなどがある
平和なところ
なかよくくらせる所
道路などほそうされている所

その他に

学校が新しくなる、むかしのまま、家がたくさん
できる、れきしのある町
都会になって観光名所がある、子どもがふえ
るとよい

などがありました。

(2) いえや近所のおじいちゃんやおばあちゃんの
どんなところがすきですか。

しんせつでやさしいところ
あいさつやはなしかけてくれる
いろいろなことをおしえてくれる
おこづかいやお菓子などをくれる
畑仕事など働いているすがた
明るく元気なところ
いろいろなことをしてくれる
ほめてくれる
話したことがない、わからない
話を聞いてくれる

24
9
6
6
3
3
3
2
2
1

アンケート一部より

質問(1)

▼まだ緑がいっぱいのこっていて、
みんながなかよくくらししている東
野になっていたらうれしい。
▼ゴミが落ちていなく、きれいな
所。
▼都会(東京)のようになってほ
しい。
▼日本一の観光名所があつてほ
しい。
▼今とあまり変わらない空気がき
れいなところ。

質問(2)

▼いろいろな昔の話をしてくれる
ところ。いろいろしつて教えて
くれるところ。
▼しゅくだいとかわからないとお
しえてくれるからやさしい。
▼いつも笑っていて、手のかわが
おもしろいからそこがすきです。
▼畑仕事とか働いているおじいちゃん
やおばあちゃんが好き。
▼学校帰りなどに外で会うと、い
つも「おかえり」とか行ってくれ
る近所のおばあさんが2人いる。

ご回答を下さった皆様には、本当
に貴いご意見をありがとうございます
ました。これからの文化活動の中
に生かしていきたいと思っています。
また、ご協力をいただいた老人ク
ラブ、小学校の皆様には心よりお
礼申し上げます。
アンケートは、次号でも紹介した
と思います。



NHK テレビ

「日本まんなか紀行」

5月7日 午後7時30分

歌舞伎・衣裳屋のくろうばなし

放送予定

出演 北天王前 伊藤さんほか

恵那市生涯学習推進学級

おななし広場

杉本 成美

おはなし広場では、手遊びや絵本の読み聞かせをします。その後、絵を描いたり、廃材を利用して楽器を作るなどの簡単な工作を親子で行っています。

又、昨年のクリスマスには公民館長さんのご協力もあり、子育て学級と合同のクリスマス会も楽しいものとなりました。

子育てに追われる毎日ですが、外に出ることと気分転換にもなりますし、会に参加することで、顔見知りになり買い物で出会ったときなどに気軽に声をかけられるようにもなりました。子ども達も、最初は緊張していましたが、回を重ねるごとに打ちとけて自然に遊べるようになりました。親同志・子同志の交流にも役立っていると思います。

毎月第三土曜日の十時から東野公民館の和室で活動しています。就園前のお友達のみなさん楽しい一時を一緒に過ごしませんか。

(クリスマス会)



(文化祭俳句大会)



恵那市社会教育活動団体

俳句する心

一講座生

東野公民館教養講座俳句科が開講されたのは昭和四十九年六月でした。

鈴木抱風子先生を講師にお迎えして月一回必ず会を開いて居ります。先生は「俳句する心」人間的なものに通ずるとの考え方から人間的としての生き方が自覚即ち信念に貫かれた生き方が尊いと延べられました。

皆さんが思想的な悩みと或いは人間的の悩みとの戦いに勝つにはこれしかない「俳句する心」だけと思います。

私たちは未完成ではあるが面白い着想、欠陥だらけではあるが素朴な着想そのもの、土や木や山や水の風土的なものなどをお互いに励まし合って老人ばかりなのでボケ防止にと一生懸命勉強して毎日を楽しみにして居ります。

花無山俳句会

臘梅や学園都市に住居して
 体ごとすべて真赤や鶏頭花
 ほのとある椀のぬくみの雑煮かな
 千ぼろと云へどたわわに見事なり
 ひっそりと此処に沢あり氷柱あり
 笑み給う地藏菩薩に寒の水
 松の雪枝跳ね返しどつと落つ
 寒の草あおし名水湧くほとり
 初戎老のリュックを求めけり
 ねんごろに重箱を拭き年用意
 切干をひろげし簾冬の蠅
 新聞に好きな句のあり初日記
 朴冬芽見上げるかなた月残る
 裏表見せてひらひら落葉降る

鈴木抱風子
 伊藤公道
 丸山瑞月
 足立いさむ
 市川茶山
 市川芳子
 伊藤靖代
 加藤裕子
 西尾美恵子
 鷹見美佐江
 松本はるか
 伊藤道子
 西尾筍子
 長谷川弘子

お 知 ら せ

◎ 上大門の市川定枝が今年度より公民館主事になりました。
今まで同様よろしくお願いいたします。

◎寄贈 ・ふるさと図書館へ ジュータン 井の下 土方紀代子様より
・図書館へ 恵那のシクラメン—80年のあゆみ—
南天王前 千藤猛司様より
句集 帯留（おびどめ） 名古屋市 吉村とし子様より
・調理室へ 卵焼き器 井の下 土方紀代子様より
ありがとうございます。

恵那市生涯学習推進学級

豊かな文化、地域づくりを目的として活動する団体に学級運営経費の半額で2万円を限度として補助します。

社会教育活動団体

社会教育、文化活動を行う団体の公民館使用料を免除します。

※各々、くわしいことは、公民館で説明します。

申し込みは東野公民館まで 電話 26-2555

ひがしの

平成六年度

東野小学校児童 125人
 “ 入学 23人
 東野幼稚園児 28人
 平成5年度に
 生まれた子供 16人

新しい講座の紹介

水墨画入門

講師

吉村 茂夫先生



生まれつき絵はへただと思っている人、書く事より見る事が好きだと云う人、書いてみたいけどずくがわからない人、みんなで集まって楽しく表現することのよろこびを体験してみませんか。

銅板画ときり絵

講師

土方 敬雄先生

銅板画は薄い銅板に下絵を書き、古いボールペンや割りばしなどで立体的に仕上げます。ムトウハップ（入浴剤）につけてから磨けば重厚な作品が出来上がります。

きり絵は風景や人物、文字などいろいろなものをカッターナイフで切りぬいて作ります。紙の種類や色などを変えたりしても楽しい作品になります。銅板画もきり絵もステキなインテリアになります。



銅板画



きり絵

編集後記

小学校の古山校長先生が三月三十一日、東野を最後に退職されました。先生には、「父母の詩」、郷土作品展、東野文化祭……そして最後には、公民館だよりの原稿までと、本当にいろいろお願いをさせていただきましたが、いつも心よく引き受けてくださいました。おかげでよい公民館活動、青少年育成事業ができました。心より厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。